

## 2019年度の事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人ころん

### 1 事業実施の方針

児童福祉法に規定される障害児通所支援事業及び相談支援事業等における障害児計画相談事業を行った。今年度は、白浜町にある事業所つばさが、災害に備えより安全な場所として田辺市に移転をし、2018年9月から2019年2月の期間休止、2019年3月に再開した。多機能型事業所ひまりは、放課後等デイサービスが重症心身障害児対象となっているため、児童発達支援の方にも、医療的ケアが必要な子どもが2名通所し、早期療育を行うことができた。

2018年8月には、特例認定の認定を受け、災害時の障害児支援を考える会、子ども達の遊び場所として「ころんすぺーす」、障害映画の学習会などを通して、地域社会への啓発及び、様々な提案を行った。

#### ⑤その他第3条の目的を達成するために必要な事業

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ①児童福祉法に規定される障害児通所支援事業及び相談支援事業等

##### ○放課後等デイサービス

ひまりは、重症心身障害児を対象とする定員5名の放課後等デイサービスである。日常生活動作の向上に向けて個々に応じた食事介助、更衣、移動、排泄、入浴支援を行った。興味や関心、遊びの幅が広がるよう、運動遊び、感覚あそび、音楽あそび、光遊び、戸外活動など様々な体験を通して、個々の健康状態に配慮しながら療育を実施している。小学部3名、中学部2名、高等部3名が放課後利用し、活動内容の幅も広く、子ども会議の時間を設け、自分の意見や希望を反映した活動内容も取り入れた。また、長期休暇を利用して、行ったことのないお店でのランチにも出かけた。また、クリスマス会や学校休業日にことは、つばさとの交流をし、他事業所の利用児と一緒に活動やあそびを楽しみ、経験を積むことができた。

ことはは、4月当初は1年生が加わり、習慣の中で、宿題や荷物の管理が自分で行えるように取り組みスケジュールを通して見通しの立て方や気持ちの切り替えの練習を行った。毎日行っている活動は、個々の特性やこだわりを理解した上で、一人一人が参加しやすい方法を工夫し、好きなことや得意なことを伸ばし、支援者と一緒に苦手なことにも少しずつ挑戦できるよう取り組んだ。1月、地域の方との交流の機会として、ポズック楽団によるチンドンショーやおもちまきを行った。

つばさは、低学年から高学年、中学生の幅広い年齢の子どもたちが通所している。そのため、毎日行っている活動は、まず興味や関心をもてるように、構造化し、わかって動ける支援を行った。同じ活動に取り組めるような工夫と配慮により、集団活動参加へと移行することができた。長期休暇は、午前と午後ちがう内容のものを設定し、障害特性のちがう子ども達が、製作、運動、おやつ買い物、戸外活動、クッキング、ルールのあるあそびなど様々な活動を通して、興味や関心の幅を広げ、コミュニケーションのとり方の練習をしながら参加できるよう取り組んだ。

ひまり：月曜から金曜、和歌山県田辺市下三栖 1499-82、従事者：7人  
重症心身障害児及び肢体不自由児、延べ人数 794人  
23,638,175円



つばさ：月曜から金曜、和歌山県田辺市朝日ヶ丘 22-54、従事者；7名  
重症心身障害児以外、延べ人数 2,015名  
15,412,074円



ことは：月曜から土曜、和歌山県西牟婁郡白浜町堅田 1026-1、従事者；7名  
重症心身障害児以外、延べ人数 1,519名  
17,612,964円



#### ○児童発達支援

早期教育を行う場として、小集団の中で人との関わりや、活動を通して『見る』『聞く』『触れる』など様々な経験をもとに療育支援を行いました。毎週木曜日を個別療育の日とし、家族と一緒に子どもたちの発達を確認し、子ども一人一人の目標に向かい統一して関わっていけるよう取り組んだ。様々な特性に対する支援を個々に応じて考え、支援を行った。保育参観や遠足などの行事の中で、家族同士のつながりやお互いの思いを伝える機会をつくり、一緒に子どもの育ちを喜べる関係づくりを大切に行った。

ひまり：月曜から金曜、和歌山県田辺市下三栖 1499-82、従事者；9名  
重症心身障害児以外、延べ人数 2,136名  
21,169,402円

#### ○保育所等訪問支援

ひまりからの転園児童や 通園ありんこからの転園児童の支援の引継ぎを行うとともに、保育所、幼稚園、幼児園、小学校、中学校、支援学校での特性に応じた支援や合理的配慮に基づいた支援が行われるよう家庭や関係機関と連携をとり、事業を行った。今年度はすさみ町、白浜町、田辺市、上富田町、みなべ町の保育所6か所、幼稚園4か所、小学校11か所、中学校1か所、支援学校2か所に訪問支援を行った。

ひまり：月曜から金曜、田辺市・上富田町・白浜町・みなべ町・すさみ町の保育所、幼稚園、小学校、中学校、支援学校、学童保育、従事者；3名  
重症心身障害児及び発達障害児等、延べ人数 50名  
0円

#### ②地域生活支援事業等

##### ○日中一次支援

家族の急な用事や病気、また、家族のお迎えや帰宅を待つ間の居場所として、見守り、排せつ等の支援を行った。

ことは・つばさ：月曜から金曜、和歌山県西牟婁郡白浜町堅田 1026-1、従事者；7名

発達障害児等、延べ人数 4名

0円

### ③福祉に関する知識の普及事業

#### ○ころん相談室

定期的に個別療育を行う等、個々に応じたスタイルで相談や支援を行った。家族から学校や家庭での様子を聞きながら、現在の様子を評価し、次の目標を考え取り組んだ。

場所：ことは、ひまり、ほうかごキッズ、シオン幼稚園、富田児童館

従事者：2名

実施日：月曜から金曜

対象者：肢体不自由児、発達障害児等、延べ人数 43名

#### ○ペアレントトレーニング

子育てがうまくいかない、発達が気になった段階において最初のステップとして取り組めるように開発された前6回のプログラムを就学前後の家族対象に行った。参加しやすいように託児も行った。

場所：ことは

従事者：10名

実施日：2019年5月24日・31日

6月7日・14日・21日・28日 10:00~11:30



#### ○自閉症勉強会

自閉症児者の方々の理解を深め、必要な時に適切な支援ができるよう一緒に学ぶ勉強会である。ご家族、支援者、医療、福祉、教育など様々な方が参加し、地域のつながりをもてるような顔の見える連携をつくることを目的とし、精神科医師、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士、教師、保育士等が、自閉症に関わる様々なテーマで勉強会を行った。

場所：県立はまゆう支援学校

実施日：2019年4月2日 18:30~20:00 『ABAについて』臨床心理士 澤村まみ氏

5月7日 18:30~20:00 『スクールワイドPBSについて~学校全体で取り組む応用行動分析①~』

参加者：32名 和歌山県立はまゆう支援学校 小川雅広教諭

6月4日 18:30~20:00 『スクールワイドPBSについて~学校全体で取り組む応用行動分析②~』

参加者 26名 和歌山県立はまゆう支援学校 小川雅広教諭

7月2日 18:30~20:00 『感覚統合的視点から見た子どもの気になる行動の分析とアプローチについて①』

参加者：32名 NPO法人ころん 作業療法士 小川麻美

8月6日 18:30~20:00 『不登校について』作業療法士 夏見崇氏

参加者：40名

9月3日 18:30~20:00 『感覚統合的視点から見た子どもの気になる行動の分析とアプローチについて①』

参加者：32名 NPO法人ころん 作業療法士 小川麻美

10月1日 18:30~20:00 『PECS①』 NPO法人ころん 保育士 加藤江理、宮野千穂

参加者 32 名

11 月 5 日 18 : 30 ~ 20 : 00 『PECS①』 NPO 法人ころん 保育士 加藤江理、宮野千穂

参加者 ; 32 名

12 月 3 日 18 : 30 ~ 20 : 00 『構音について』 南紀医療福祉センター 言語聴覚士 松原加奈氏

参加者 ; 15 名

2020 年 1 月 7 日 18 : 30 ~ 20 : 00 『青年期の子ども達のことと卒業後の進路について』

参加者 16 名

和歌山県立はまゆう支援学校 宇井英二教諭

2 月 4 日 18 : 30 ~ 20 : 00 『特別支援学校のセンター的役割について』

参加者 21 名

和歌山県立はまゆう支援学校 山本秀子教諭

3 月 3 日 18 : 30 ~ 20 : 00 『防災について』

和歌山レスキューサポートバイクネットワーク 早稲田眞廣氏

※コロナウィルス感染予防のため次年度に延期

対象者 : 教育、医療、福祉に関わる関係者、発達が気になる児童とその家族

0 円

#### ④障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく一般相談支援事業及び特定相談支援事業

##### ○相談支援

指定特定相談支援・障害児相談支援のうち、主に障害児相談支援を行った事業内容は、障害福祉サービスを申請した障害者（児）について、障害児者の心身の状況や環境、障害児または保護者の意向を踏まえてサービス等利用計画の作成。及び支給決定後の事業者との連絡調整。一定期間ごとサービス等利用計画の見直し（モニタリング）を行った。対象者は、障害福祉サービスを申請した障害者又は障害児であって市町村がサービス等利用計画の提出を求めた者。

菜の花 : 火曜・金曜、和歌山県西牟婁郡白浜町 1068-2、従事者 ; 2 名

障害児者、延べ人数 154 名

27,097 円

#### ⑤その他第 3 条の目的を達成するために必要な事業

##### ○ころんすぺーす

発達障害や重症心身障害の子ども達が、安心して、安全に過ごせる遊び場として、木と布のおもちゃと工作教室を行った。今年度も田辺市の 2 歳児健診と合わせて行政局の乳幼児健診の待ち合いの場所でミニころんすぺーすを行い、家族が子育てを楽しめる活動を紹介した。

情報交流センター Big・U でのイベントでは、社会福祉法人かがやき神戸、土曜日の天使達のクラウンショーや社会福祉法人ふたば福祉会、パン工房ぱんだぱんだとあすか作業所の物品販売、社会福祉法人一麦会、ポズック楽団のチンドンショーと他法人にも参加してもらい、法人の活動を啓発するとともに障害への理解や子どもの居場所づくりを行った。

今年度は、令和元年度田辺市地域保健福祉推進補助金とノエビアグリーン財団、令和元年度歳末たすけあい運動団体組織支援事業の助成金をいただき開催することができた。

場所 : まろコミュニティセンター、情報交流センター Big・U

従事者 : 15 名

実施日 : (万呂コミュニティセンター) 10 時 ~ 15 時 (参加人数)

2019年4月布のおもちゃ13日(7名)、5月押すおもちゃ11日(4名)・25日(4名)、6月見るおもちゃ8日(15名)・22日(9名)、7月積むおもちゃ12日(12名)・27日(22名)、9月開くおもちゃ14(12名)・28日(9名)、2020年1月11日(10名)、2月8日(8名)

※コロナウィルス感染予防のため中止 3月14日・28日

対象者：午前の部 重症心身障害児、午後の部 発達障害児等、一般、延べ人数 101名

2歳児健診対象者 延べ人数 約270名

1,458,000円

(情報交流センターBig・U) 10時～15時

2018年8月3日海の世界(128名)、11月16日おかしのに(206名)、12月21日100人のサンタ(131名)

対象者：重症心身障害児、発達障害児等、一般、延べ人数 465名

場所：田辺市民総合センター、中辺路行政局、大塔行政局、本宮行政局、龍神行政局

従事者：7名

(2歳児健診)

2019年4月22日、5月10日、6月6日・17日、7月1日、8月20日、9月17日、・20日10月11日・30日、11月15日・20日、12月9日、2020年1月15日・30日、2月14日・19日

(行政局の乳幼児健診)

2019年5月21日、6月12日・13日、9月11日・19日、10月23日、2020年2月4日

対象者：延べ人数 約730名

場所：白浜町立日置保育園、白浜町立とんだ幼稚園

従事者：1名

対象：地域の親子

(白浜町立日置保育園) 2019年4月25日10:00～12:00(15名)

2020年2月5日9:30～12:00(10名)

(白浜町立とんだ幼稚園) 2019年7月3日10:00～11:00(14名)



#### ○障害児に特化した避難所づくり(災害時の障害児支援を考える会)

障害児に特化した避難所づくりに向けて、ころん避難所運営規定づくり、テント村避難所体験等を行う。今年度は、JTの助成金をいただき福祉避難所やころん避難所が定員を超えてしまったときの新たな避難所として提案、体験を行った。一般の方にも知ってもらえる機会と考え、対象を幅広くし悪天候にもかかわらず大勢参加してくれた。共催として和歌山県作業所連絡会の第4ブロックに加盟する田辺西牟婁地域の福祉作業所災害という非常時に、どのような備えが必要か具体的な支援をどのように行うのか、子ども達と家族、支援者、関係機関、行政、そして、地域と一緒に考える機会をつくることで、防災について意識を向けることを目的に行っている活動である。

場所：ひまり、白浜町消防本部、和歌山県立はまゆう支援学校グラウンド

従事者：17名

実施日：2019年4月9日・18日・25日、5月9日・14日・31日 9:30~11:30

事業実施に向けての会議、ころん避難所運営規定づくり、テント設営の練習

6月11日 避難所 HUG 体験

6月19日 テント設営の練習

7月9日・11日 ころん避難所運営規定づくり、備蓄食等備品の確認、テント設営の練習

8月8日 テント設営の練習、備蓄食おやつ体験

9月9日 白浜事業所連絡会にて備蓄食体験

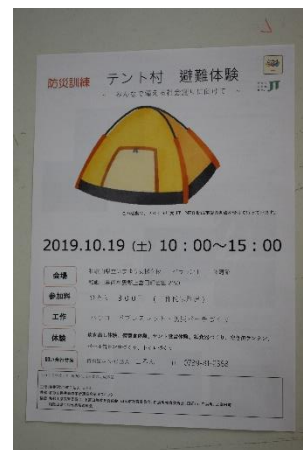
9月26日・10月3日 テントの設営の練習

10月19日 テント村避難所体験実施（参加者 143名）

12月10日 テント村避難所体験振り返り

12月27日・2019年1月7日・14日・2月6日・11日・21日 テントの設営の練習、まとめ

対象者：教育、医療、福祉に関わる関係者、発達が気になる児童の家族、一般、延べ人数 218名



### ○障害映画の学習会・つながり映画祭

障害をテーマにした映画を上映。「知る」それが最初の一步をテーマに、障害に対する理解と啓発のきっかけづくりができればと考え取り組んでいる。今年度も、令和元年度田辺市地域保健福祉推進補助金を頂き、開催した。

#### 【障害映画の学習会】

実施日：2019年4月21日 10:00~12:00 「大人の自閉症をテーマに」 (参加者 23名)

6月1日 10:00~12:00 「ハンセン病をテーマに」 (参加者 19名)

7月13日 13:00~15:00 「知的障害をテーマに」 (参加者 21名)

9月7日 10:00~12:00 「高次脳機能障害をテーマに」 (参加者 18名)

2月8日 10:00~12:00 「失声症をテーマに」 (参加者 9名)

3月7日※コロナウィルス感染予防のため中止

#### 【つながり映画祭】

実施日：2019年12月3日~7日 ①9:30~12:00 ②13:30~16:00 ③18:30~20:00

3日①「どんぐりの家」(参加者 13名) ②「道草」(参加者 15名) ③あまのがわ(参加者 12名)

4日①「風は生きよという」(13名) ②「四万十~いのちの仕舞い~」(7名) ③「私はワタシ」(14名)

5日①「もうろうを生きる」(15名) ②「いろとりどりの親子」(16名) ③「葉」(19名)

6日①「ふるさとをください」(10名) ②「夜明け前」(10名) ③「あい」(12名)

7日①「キセキの葉書」(18名) ②「真白の恋」(17名) ③「星に語りて」(11名)

900,000円



### ○おやこ自転車教室

安心してできる環境の中で、集中的に練習を行いました。楽しみながら自転車に乗れるよう毎年行ってきましたが、今年度は雨天中止となりました。来年度に延期の予定です。

実施予定日：2019年2月22日①10：00～11：30 ②13：30～15：00

場所：県立はまゆう支援学校 グラウンド

対象者：18歳まで子どもとその家族

0円